

令和4年度第2回宗像市下水道事業運営審議会 議事録

日時：令和4年7月20日（水）

14：00～16：00

場所：宗像終末処理場

審議会委員

出欠	名前	出欠	名前	出欠	名前	出欠	名前	出欠	名前
○	久場委員	○	寺嶋委員	○	外園委員	○	瀧口委員	○	伊庭委員
○	原口委員	○	嶺 委員	○	國廣委員	○	佐藤委員		

事務局（下水道課：楠、永見、石松、寺嶋、安部、林田、橋本）

1. 開会

2. 議題

(1) 第1回審議会議事録について

事務局説明

第1回の審議会の議事録について、昨日メールで送付しており、最終確認後にホームページに掲載する旨説明。

(2) その他

事務局説明

審議委員名簿をホームページに掲載したことを報告。また、前回の会議で質問があった、「宗像市バイオマス産業都市構想の期間」について、平成27年に作成されており、次回の策定時まで今の内容を継続すると説明。

質疑等

(1)、(2)ともに特になし。

3. 審議事項

I 宗像終末処理場の改築更新について

事務局説明

ストックマネジメント計画の概要と宗像終末処理場の再構築計画の説明を行い、方針案を提案した後、今後の進め方を提示。

質疑等

【委員】 処理場の用地である処理場横のグラウンドに新設する案があるが、このようなグラウンドがあるからこそ、下水道事業に親近感を覚える地域の方がいるのではなかろうか。グ

ランド利用が多ければ、新規土地購入の案でも良いのではなかろうか。

【事務局】 実施設計又は詳細設計を行うタイミングでそのことも含めて検討したい。

【委員】 処理場横の用地に新設するケースと、新規に土地を購入し新設する際の金額の違いは、土地代の差だけなのか。

【事務局】 基本的に土地代だけだ。しかし、処理場横の用地に新設するケースだと、限られたスペースに収める必要があり、機械部品を多く必要とする。土地代は今後大きく変わることはないだろうが、機械代は物価の高騰を加味すると大きく上がる可能性が高いため、将来は新規用地を購入し新設したほうが安くなる可能性がある。実施設計や基本設計、詳細設計などのタイミングで再度金額を精査し、再度検討したい。

【会長】 処理場横の用地に新設する際の「新技術」というのは一体何を指しているのか。

【事務局】 宗像終末処理場は高度処理を行い、処理水の中に含まれる窒素分やリン分を取り除いている。通常、この処理を行うためには標準活性汚泥法の施設の倍の大きさが必要になるが、新技術を使うことによって、標準活性汚泥法と同じ大きさの処理施設で窒素分を取ることができる。このコンパクトなスペースで窒素分を処理できる技術を「新技術」という呼び方をしている。

【委員】 資料に記載のロードマップでは、令和14年度から供用開始になっているが、供用開始が令和14年度以降に延びる可能性もあるという認識でよろしいか。

【事務局】 そうだ。

【副会長】 無理をしてコンパクトに作らず、用地の左側から順番に新しいものを造り、最後に現在の3・4系列を撤去解体し、新設することにより、処理場横の用地にプラスして現在の3系・4系の敷地も含めてのリニューアルができるのではなかろうか。

【事務局】 基本設計の段階で、将来の人口推計なども踏まえつつ処理場の適切な大きさを検討したい。

【委員】 第1系統はどうなるのか。

【事務局】 起債との関連があり、すぐには解体できないが、将来的にはどこかのタイミングで補助金をもらえるような制度を活用して壊していきたいと考えている。

【委員】 新規用地を購入して新設するケースは、地主と話を行っているのか。

【事務局】 まだ用地交渉は行っていないためリスクはある。この審議会の方針が決まれば、基本計画のタイミングで用地取得の検討に当たりたいと考えている。

○処理場横の用地を利用するケースを基本に考えるが、経費の高騰等も踏まえ、新規用地を取得するケースや、処理場横の用地と3・4系列の敷地も利用するケースも検討していくことで承認された。

II 岬地区の公共下水道への統合について

事務局

既に公共下水道への接続は済んでおり、宗像終末処理場で処理していることを説明。また、公共下水道へ事業統合するか否か、統合効果など提示して提案。

質疑等

【副会長】 岬地区の分を抜き出して会計・統計処理しているとのことだが、具体的にはどういう費用を抜き出しているのか。

【事務局】 ポンプ場や終末処理場がかかっている費用を、岬地区分の水量で算出し抜き出している。

【委員】 かなり煩雑だ。できるだけ早く事業統合したほうが良いと思う。

○岬地区は公共下水道へ事業統合していくことを承認された。

III 地島の将来的な汚水処理について

事務局

地島の現況、課題、将来に向けた検討方針を説明。

質疑等

【委員】 処理場を1つに統合するケースは、中継ポンプの工事費等も含んだ金額なのか。

【事務局】 そのとおりだが、ライフサイクルコスト等を考えると、現実的には厳しいので

はないかと考えている。

【事務局】 処理場を現状どおり2つ抱えたまま更新していくのも莫大なコストがかかる。浄化槽を全戸に設置するのも敷地面積などの問題にぶつかるかもしれない。現在人口が減少しているので、人口の減り具合によって対応を変えていきたいと考えている。

【委員】 浄化槽の場合の個人負担や、災害時の対応などを検討材料に加えていただきたい。

○当面の間は改築更新を行わず、今後人口の推移や機械の状態とかを注視しながら、更新の規模、時期を考えていくことで承認された。

IV 下水道事業運営審議会について

○次回は9月下旬から10月初旬頃に行うことが承認された。

3. その他

4. 閉会

—— 終了 ——